

## 第35回 日本交通医学工学研究会 学術総会のご案内



拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来る9月21日(月・祝日)、第35回日本交通医学工学研究会学術総会を名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館で開催いたしますので、ぜひともご出席いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、講演会会場の2階カンファレンスホールでは飲食はできません。飲食はすべて1階をご利用ください。また、会場周辺には自動販売機等がございませんので、飲み物は各自ご持参下さい。

当日は大学内への自動車の乗り入れは有料です(1時間700円 台数に限りあり)。公共交通機関のご利用をお願い申し上げます。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

敬 具

主 題： 事故ゼロ社会に向けた医学・工学領域での取り組み

会 期： 令和8年9月21日(月・祝) 10:00~17:25

会 長： 本会理事 大川 明美

(株式会社アイシン 技術開発本部 要素技術開発推進 主査)

会 場： 名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町【HP】<http://www.nagoya-u.ac.jp/>

後 援： 公益社団法人 日本医師会 公益社団法人 愛知県医師会

公益社団法人 自動車技術会 一般社団法人 日本機械学会

### 《交通アクセス》

\*最寄駅\* 地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車、2番出口(右)

→金山総合駅[地下鉄名城線:左回り]→名古屋大学

→名古屋駅[地下鉄東山線:藤が丘行]→本山[地下鉄名城線:右回り]→名古屋大学

→地下鉄八事駅[地下鉄名城線:左回り]→名古屋大学

### 《昼食について》

当日は祝日のため、名古屋大学 東山キャンパス内の食堂および売店の利用ができません。

当会にて昼食(1,300円:お茶付き)をご用意させていただきますので、ご利用下さい。

なお、当日のお申込、およびご用意は出来ませんのでご了承下さい。

(昼食休憩時間は12:30~13:20です。)

昼食ご希望の方は、学術総会費等と併せてお振込いただきますよう、お願い申し上げます。

以上

### ◆お申し込み・手続きのご案内

この学術総会は一般に公開され、混雑が予想されますので、参加予約制(先着順、定員300名)とさせていただきます。賛助会社の会員の方は各担当者までお申し込み下さい。また個人会員の方は氏名、連絡先、TEL、FAX、(E-MAIL)をご記入の上、E-MAIL または FAX にて下記宛にお申し込み下さい。ご参加の方には、後日、抄録集の案内と振込案内用紙をお送り致します。なお当日のキャンセルはお受けいたしかねますのでご容赦下さい。

締切日： 一般8月28日(金) 賛助会社会員7月31日(金)

費用： 学術総会費 12,000円 (正会員年会費 6,000円、参加費 6,000円)・昼食代 1,300円

(お振込みは9月4日(金)までをお願い申し上げます。)

宛先 〒460-0008 名古屋市中区栄 1-7-20-5B 日本交通医学工学研究会

TEL:052-222-4811 FAX:052-222-4812

E-MAIL:info@jatme.jp 【HP】<https://www.jatme.jp>

## 第 35 回 日本交通医学工学研究会 学術総会 会長挨拶

—第 35 回日本交通医学工学研究会学術総会を迎えて—

第 35 回日本交通医学工学研究会学術総会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

本学術総会では、「事故ゼロ社会に向けた医学・工学領域での取り組み」を主題として掲げました。交通事故死亡者数や事故件数は長期的には減少傾向を示してきましたが、その発生要因や被害構造は複雑化しており、高齢化の進展、疾病や服薬が運転行動に及ぼす影響、運転者と車両・社会システムとの関係性など、多面的な課題が顕在化しています。

シンポジウム A では、「運転者に寄り添う事故未然防止」をサブテーマに、運転者の身体状態と技術による支援を結びつけた事故低減の新たな視点について議論します。シンポジウム B では、「医療と社会基盤で支える交通安全」をサブテーマに、事故の未然防止から被害軽減、社会的対応までを俯瞰し、交通安全を支える多層的な仕組みを考察します。

さらに特別講演では、交通事故未然防止研究の最前線を共有し、事故ゼロ社会への道筋を展望します。

本学術総会が分野横断的な議論を通じて新たな視座を提供し、今後の実践につながる場となることを願っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第 35 回日本交通医学工学研究会学術総会

会長 大川 明美

## 第35回 日本交通医学工学研究会 学術総会のプログラム

主 題：事故ゼロ社会に向けた医学・工学領域での取り組み  
会 期：令和8年9月21日（月・祝）10:00～17:25  
会 長：本会理事 大川 明美（株式会社アイシン 技術開発本部 要素技術開発推進 主査）  
会 場：名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町【HP】<http://www.nagoya-u.ac.jp/>

- ◆開会・挨拶 (10:00～10:20)
- ◆シンポジウムA：運転者に寄り添う事故未然防止 (10:20～11:50)
  - A-1 出合い頭事故防止のための運転介入による減速支援の方法検討 (30分)  
原田 あすか 国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学  
未来社会創造機構 HMI・人間特性研究部門 研究員
  - A-2 低血糖事故の未然防止に向けて：最新デバイスによる血糖制御 (30分)  
服部 麗 糖尿病・甲状腺・内科 はっとりクリニック知立 院長
  - A-3 「事故ゼロ」に向けた車両データ活用の取り組み (30分)  
飯 潔倫 トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー  
プロジェクト領域 AD-V：バリューチェーン革新 Prj  
プロジェクト長
- ◆パネルディスカッションA (11:50～12:30)
- ◆休憩 (12:30～13:20)
- ◆第35回 定期総会 (13:20～13:50)
- ◆特別講演 交通事故死者ゼロ社会をめざして (14:00～14:50)  
～リスクの未然通知による交通事故未然防止支援の研究開発～  
笹淵 洋治 株式会社本田技術研究所 統合研究センター  
知能化・安全研究領域 チーフエンジニア
- ◆コーヒープレイク (14:50～15:10)
- ◆シンポジウムB：医療と社会基盤で支える交通安全 (15:10～16:40)
  - B-1 精神疾患の治療薬及び精神疾患が自動車運転に及ぼす影響 (30分)  
尾崎 紀夫 名古屋大学  
医学系研究科 精神疾患病態解明学 特任教授
  - B-2 ヒヤリハット体験マップを活用した交通安全の取り組み (30分)  
加藤 秀樹 公益財団法人 豊田都市交通研究所  
研究部 主幹研究員
  - B-3 重症外傷センター構想の中での外傷診療システムの展望 (30分)  
渡邊 栄三 愛知医科大学 救急集中治療医学講座 教授  
愛知医科大学病院 高度救命救急センター長・副院長
- ◆パネルディスカッションB (16:40～17:20)
- ◆閉会 (17:20～17:25)

# 会場案内図

地下鉄名城線「名古屋大学」下車 ②番出口

